

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2024年 9月 6日

①事業者名	一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会					
②測定ツール名	TOEIC Bridge® Tests: TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests(以下、TOEIC Bridge L&R) TOEIC Bridge® Speaking and Writing Tests(以下、TOEIC Bridge S&W)					
③主な対象者	英語学習初級者から中級者(CEFR A1-B1)					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
			○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	TOEIC Bridge Testsは、英語学習初級者から中級者を対象とした、日常生活における活きた英語の力を測定する世界共通のテストです。日常的によくある場面や会話の文脈の中で、自然にコミュニケーションを取るための基礎的な英語スキルを測定し、同時に英語初中級者の学習とスムーズな習得をサポートします。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	TOEIC Bridge Testsは、米国の世界最大のテスト専門機関ETSによって、開発、制作されています。日常会話はもちろん、メール、SNS、ビデオ通話など現代のコミュニケーションシーンなど、実際の場面に即した英語能力が測定できるテストです。 テスト問題は、国際的な英語能力指標なども参考に、分析、フィールドテスト、実際の回答データなどを基に選定するEvidence Centered Designの手法で作られ、公正さと妥当性を担保しています。 受験結果は可否ではなくスコアで表示され、受験者自身の英語力の現在地が正確に測定できます。TOEIC Bridge S&Wは人によって採点されており、厳格な方法で採点者の採用や結果の管理を行いテストの品質向上に努めています。 TOEIC Bridge Testsの活用例は、中学校・高等学校における学年単位の英語学習進捗測定、大学進学が決定した生徒への進学前教育の一環でのテスト実施、大学でのプレイスメントテストの準備、大学附属高等学校における内部進学要件などがあります。					
⑧実施期間、年間実施回数	・TOEIC Bridge L&R 団体特別受験制度：Institutional Program（IPテスト）：試験日程は学校の都合に合わせていつでも設定可能、受験回数に制限なし ・TOEIC Bridge S&W 団体特別受験制度：Institutional Program（IPテスト）：試験日程は学校の都合に合わせていつでも設定可能、受験回数に制限なし					
⑨実施方式（CBT/PBT）	・TOEIC Bridge L&R ①PBT:マークシートによる一斉客観テスト ②CBT:インターネット上で受験するオンライン方式 →学校の希望に合わせて①②の選択可能 ・TOEIC Bridge S&W CBT:インターネット上で受験するオンライン方式					
⑩試験時間(分)	国語		数学		英語	
					・Listening 約25分 ・Reading 35分 ・Speaking 約15分 ・Writing 約37分	
⑪受検料	・TOEIC Bridge L&R 1名あたりの受験料（税込） 実受験者数が299名以下の場合：2,970円 実受験者数が300名～999名の場合：2,640円 実受験者数が1,000名以上の場合：2,420円 ・TOEIC Bridge S&W 1名あたりの受験料（税込） 6,800円					
⑫標準返却期間	・TOEIC Bridge L&R 【PBT】 担当者：採点日の翌営業日15時よりテスト結果一覧データがダウンロード可 受験者：採点日の5営業日後にテスト結果を発送 【CBT】 担当者：受験期間終了日の翌日10時よりテスト結果一覧データがダウンロード可 受験者：受験日の翌日10時よりテスト結果がダウンロード可 ・TOEIC Bridge S&W 担当者・受験者：受験期間終了日から11営業日後よりテスト結果がダウンロード可					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	・TOEIC Bridge L&R https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_lr/about.html ・TOEIC Bridge S&W https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw.html					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

測定ツール名：TOEIC Bridge® Tests：

TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests(以下、TOEIC Bridge L&R)

TOEIC Bridge® Speaking and Writing Tests(以下、TOEIC Bridge S&W)

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

TOEIC Bridge Tests は、英語を母語としない人のための英語能力テストとして、実社会でのコミュニケーションに必要な英語の能力を測定します。日常生活や実社会で使われている話し言葉や書き言葉を初級・中級レベルの受験者になじみの深い題材を用いて出題しています。

【主な対象者】

英語学習初級者から中級者（CEFR A1-B1）

【測定しようとする資質・能力】

Listening、Reading、Speaking、Writing の4技能それぞれで、「知識・技能を問う問題」「思考力・判断力、表現力を問う問題」が出題されます。

Listening および Reading は選択式問題を用いて、

- ・「知識・技能を問う問題」：語彙や文法、文脈理解等の問題を出題
- ・「思考力・判断力、表現力を問う問題」：読み取った情報からの推測、複数文書の理解、場面状況理解等を出題

Speaking および Writing は記述式問題を用いて、

- ・「知識・技能を問う問題」：語彙や文法、文脈や場面に応じた内容に沿う問題を出題
- ・「思考力・判断力、表現力を問う問題」：提示された条件に沿った内容を理解したうえで、相手に理解されるよう発話、文章作成等を行う問題を出題（解答語数等は非公開）

【出題範囲】

英語学習初級者から中級者（CEFR A1-B1）

【学習指導要領との対応】

学習指導要領の内容との類似性、相関性が高いことは下記調査結果でも示されています。

- ・『令和4年度の新課程英語教科書コーパスおよび共通テストコーパスに基づく TOEIC®

Listening and Reading Test/TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests の語彙の特徴』

<https://www.iibc->

[global.org/hubfs/library/default/toEIC/official_data/lr/research_02/pdf/7_J.pdf?hsLang=ja](https://www.iibc-global.org/hubfs/library/default/toEIC/official_data/lr/research_02/pdf/7_J.pdf?hsLang=ja)

- ・『TOEIC Bridge® L&R スコアとの比較調査』＜添付資料1（学会発表資料から一部抜粋）＞

＊大学入学共通テストと TOEIC Bridge® L&R のスコアについて比較分析を実施。2023 年大学英語教育学会（JACET）第 62 回国際大会にて発表。

- ・『TOEIC S&W および TOEIC Bridge S&W の高評価の解答例における語彙と構文の複雑性の分析』

＊2024 年大学英語教育学会（JACET）第 63 回国際大会において発表。

【出題形式】

TOEIC Bridge L&R：選択式

TOEIC Bridge S&W：短答式、記述式

(2)構成等

①出題形式

TOEIC Bridge L&R

Listening	パート	問題数	出題形式
	1	6	選択式
	2	20	選択式
	3	10	選択式
	4	14	選択式

Reading	パート	問題数	出題形式
	1	15	選択式
	2	15	選択式
	3	20	選択式

TOEIC Bridge S&W

Speaking	問題形式	問題数	出題形式
	音読問題	2	短答式
	写真描写問題	2	記述式
	聞いたことを伝える問題	1	記述式
	短い応答問題	1	記述式
	ストーリー作成問題	1	記述式
	アドバイスをする問題	1	記述式

Writing	問題形式	問題数	出題形式
	文を組み立てる問題	3	短答式
	写真描写問題	3	記述式
	短文メッセージ返信問題	1	記述式
	ストーリー記述問題	1	記述式
	長文メッセージ返信問題	1	記述式

②出題範囲

英語学習初級者から中級者レベル（A1-B1）

義務教育範囲を踏まえた高等学校範囲を含む。初中級レベルの英語力を測定できるよう出題。

Listening、Reading、Speaking、Writing それぞれ15～50点の1点刻みでスコアを提供。

(3)難易度設定の考え方・方法

TOEIC Bridge Tests は、言語テスト研究者、コンテンツ開発者、計量心理学者、TOEIC® Program のビジネスディレクターらが協力し事前調査分析を行い開発にあたっています。

予備調査はパイロットテスト、フィールドテストと2段階に分け、日本をはじめ TOEIC Bridge L&R および TOEIC Bridge S&W を実施する複数の国で実施されました。適宜必要な修正を加えながら、それぞれタスクや回答時間の適切性、評価基準や異なる評価者による評価の一貫性なども分析され、受験者のレベルを適切に評価していることが確認されています。

詳細についてはテストを開発・制作する ETS より調査報告書が公開されています。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ✓ 実際の場面設定で、「使える」英語の学習意欲を向上
- ✓ TOEIC Bridge S&W は人による採点が行われ、人に「伝わる」英語を評価
- ✓ TOEIC Bridge L&R の受験結果だけでなく TOEIC L&R の参考スコアを提供。さらなる学習意欲の喚起を促す
- ✓ 大学等で TOEIC L&R、TOEIC Bridge L&R がプレイスメントテスト等に使用されることも多く、準備学習としても最適
- ✓ Can-do ガイドをテスト結果とともに提供。スコアに応じてできることを示し目標設定に活用が可能 <添付資料 2> <添付資料 3>
- ✓ 受験回にかかわらずスコアの基準は常に一定に保たれ、合否ではなく受験者が前回よりもより上を目指せるよう目標設定が容易

(5) その他特長

- テストの高い品質（信頼性、妥当性、公平性）

TOEIC Bridge L&R、TOEIC Bridge S&W だけでなく TOEIC Program 全体について、テスト品質の維持・管理のため様々な調査分析を実施。その結果を公表し信頼性、妥当性、公平性の根拠を開示。

<https://www.ets.org/toEIC/research.html>

- 評価の異なる解答例を公開

TOEIC Bridge S&W は問題形式ごとに複数の解答例を公開。評価の違いや具体的にどのように解答するのかをイメージしてから受験が可能。

https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw/about/format/sample01.html

II. 結果提供に関すること

(1) 受験者個人への結果提供内容・方法

団体特別受験制度（IP テスト）の受験結果提供内容・方法は以下のとおり。

<添付資料 4> <添付資料 5>

【TOEIC Bridge L&R マークシート方式】

各受験者に Institutional Program (IP) Score Report および Study Advice Sheet を学校を通して配布。

Institutional Program (IP) Score Report 掲載項目：

テスト実施日、Listening score、Reading score、Test score、
スコアレンジ別評価（Listening/Reading）、Abilities Measured（項目別正答率）、
学習法動画、TOEIC L&R、CEFR レベルとの比較表などの各種データ等（QR コードで提供）

Study Advice Sheet 掲載項目：

今回を含めた直近 3 回分の受験結果、スコアに応じた学習アドバイス、
TOEIC L&R 参考スコア、
受験結果に基づく学年順位、受験者全体、学年別受験者数および平均スコア、
最高・最低スコア、受験者自身のスコアと全体・所属学年とのスコア比較・分布、
学校の先生からのメッセージ 等

【TOEIC Bridge L&R オンライン方式】

各受験者に直接「テスト結果取得通知メール」にて Institutional Program (IP)online Test Result を送信（学校担当者もダウンロード可能）。

Institutional Program (IP) online Test Result 掲載項目：

テスト実施日、Listening score、Reading score、Test score、TOEIC L&R 参考スコア、スコアレンジ別評価（Listening/Reading）、Abilities Measured（項目別正答率）

【TOEIC Bridge S&W】

各受験者に直接「テスト結果取得通知メール」にて Institutional Program (IP)online Test Result を送信（学校担当者もダウンロード可能）。

Institutional Program (IP) online Test Result 掲載項目：

テスト実施日、Speaking Score、Writing Score、Test Score、スコアレンジ別評価

(2)学校等への結果提供内容・方法

【TOEIC Bridge L&R マークシート方式/オンライン方式】

学校担当者に以下を含むテスト結果データファイル（EXCEL、CSV、テキスト形式）を送信。

各受験者の Listening Score、Reading Score、Test Score、TOEIC L&R 参考スコア、Abilities Measured（項目別正答率）、アンケート（既定・学校独自）回答結果

【TOEIC Bridge L&R マークシート方式】

上記テスト結果データファイルに加え、TOEIC Bridge L&R Program Score Data を送付。

<添付資料 6 >

TOEIC Bridge L&R Program Score Data 掲載項目（紙面にて提供）：

学内受験者全体のテストスコア分布、学年別のテストスコア分布、
受験者全体の Listening/Reading スコア分布、学年別のスコア分布 等

【TOEIC Bridge S&W】

学校担当者に以下を含むテスト結果データファイル（EXCEL、CSV、テキスト形式）を送信。

各受験者の Speaking Score、Writing Score、Test Score、
アンケート（既定・学校独自）回答結果

【TOEIC Bridge L&R マークシート方式/オンライン方式】 【TOEIC Bridge S&W】

希望される団体には以下資料も提供。

- ・ TOEIC Bridge L&R Program Score Data Check Up <添付資料 7 >
- ・ TOEIC Bridge S&W Program Score Data Check Up <添付資料 8 >

掲載項目：

全受験者の平均値、中央値、最頻値、標準偏差、範囲、最小値、最大値、
Listening/Reading/Test score 分布、Speaking/Writing/Test score 分布、
学年別スコア、海外滞在経験別スコア、
TOEIC Bridge L&R 受験回数別スコア、
所属コード別スコアの Listening/Reading/Test Score、Speaking/Writing/Test Score 等

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

【TOEIC Bridge L&R】

テストの妥当性・信頼性を保つため、採点は細かい分析・検証作業を基に行います。IRT 理論などに基づいたアイテムアナリシスと呼ばれる分析作業はそのひとつで、採点の前後に実施されます。採点前には無作為に抽出した受験者の解答をサンプリングし、採点（スコア）の信頼性の確保と、それに伴う不適切な問題の除外を目的に行います。また採点後には、受験者全員を対象とした分析を実施し、全体のクオリティや評価の信頼性の検証を実施しています。

またイクエイティング（スコアの同一化）を行い、素点ではなく換算点に置き換えて最終的なスコアを算出します。スコア算出時に新旧テストを比較し、問題の難易度や受験者群の能力レベルによってスコアにブレが生じないように調整され、スコア基準の不変性を確保しています。受験者は、実力が変わらなければスコアも一定となり、また時系列的に学習到達度の確認が可能となります。

【TOEIC Bridge S&W】

ETS による採点のトレーニングを受け、テストの合格者のみが採用され、かつ採点当日にも事前テストを合格した評価者のみが採点を実施します。採点は常に評価基準やガイドラインに基づいて行われ、採点の独立性を保つため、評価者は受験者ごとではなく担当の問題の解答を採点します。加えて、訓練を受けた Scoring Leader（採点者のリーダー）が採点の過程をモニターし、万が一、採点者に問題がある場合には再教育の実施や、採点者の認定を取り消すこともあります。採点結果は ETS のテスト開発者がすべて確認、結果発送前には ETS の統計の専門家がすべての採点結果を分析し検証を行っています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

米国のテスト専門機関 ETS においてそれぞれ専門の担当者が作問、テストアセンブル、レビュー、センシティブティレビューを行い、問題の質を担保。

詳細は以下公式ホームページにて公開。「TOEIC Program はどのように作られるのか」

https://www.iibc-global.org/toEIC/toEIC_program/philosophy_03_01.html

(2) 学校における実施方法

【TOEIC Bridge L&R マークシート方式】＜添付資料 9＞

受験形式：マークシート方式

実施日程：学校が希望する日時にて設定可能

学校の役割：試験教室の確保、音響機材（CD プレーヤー等）の準備、
試験当日の対応（実施マニュアルを参考に解答用紙/試験問題の配布/回収/返送、
リスニング音声の再生、試験中の監督等）

【TOEIC Bridge L&R オンライン方式】＜添付資料 10＞＜添付資料 11＞

実施日程：学校が設定する受験期間（最大 60 日間）の間に希望日に受験可能

学校の役割：実施担当者にお送りする登録用 URL を生徒に配布

（必要に応じて先生方に動作確認用のデモコードを提供）

＊学校側にて一括で受験者情報登録も可能

＊パソコン教室等で一斉受験の場合はパソコンの動作確認や試験中の監督

【TOEIC Bridge S&W】

実施日程：学校が設定する受験期間（最大 7 日間）の間に希望日に受験可能

学校の役割：TOEIC Bridge L&R オンライン方式に同じ

【TOEIC Bridge L&R オンライン方式】 【TOEIC Bridge S&W】

オンライン方式で実施のための提供サポート：

- ・受験の際の試験官業務
- ・システムトラブル等の電話対応

（TOEIC Program IP テスト〈オンライン〉ヘルプデスク：平日 10 時～17 時/土日祝除く）

(3)採点の方法と体制

【TOEIC Bridge L&R マークシート方式】

解答用紙を受領後、マークシートを読み取りスコアを算出。

【TOEIC Bridge L&R オンライン方式】

テストの最終問題解答後、スコアを自動算出、受験後即時に画面上に表示。

【TOEIC Bridge S&W】

ETSが開発したTOEIC S&Wを採点するシステム（ONE: Online Network for Evaluation）を使用し、ETSの認定を受けた採点者が採点します。受験者情報と解答データは完全に分離し、採点者は受験者の国籍や氏名、他の設問の解答などを確認することなく、各設問の採点は独立性を保持しています。ONEを通して採点者は採点開始前に必ずテスト（採点基準を一定に保つためのチェックテスト）を受け、採点の正確性が確認されています。

<https://www.iibc-global.org/toEIC/test/sw/about/scoring.html>

How ETS Scores the TOEIC® Speaking and Writing Test Responses

<https://www.ets.org/Media/Research/pdf/TC-10-08.pdf>

(4)情報管理体制

公式ホームページに「プライバシーポリシー」を掲載し、個人情報保護方針を明確にしています。

<https://www.iibc-global.org/privacy.html>

また、下記のとおり情報管理を行っています。

- ・平成18年(2006年)にプライバシーマークを取得し、以後継続的に更新しており、JISQ15001の要求事項に基づき、当協会が保有する個人情報ならびに機密情報の安全な管理・運用を実施しております。
- ・業務上取り扱う顧客、取引先等の情報資産その他当協会の情報資産を各種の脅威から適切に保護することにより、事業活動を正常かつ円滑に行うため「情報セキュリティ管理規程」を定めております。この情報セキュリティ管理規程に基づき、情報資産を保護、管理するための体系的かつ効果的な管理の実施を図るために「情報セキュリティ管理基準」を定め、管理者および利用者それぞれにおける「情報セキュリティ管理/実施細則」に従い運用を行っています。

緊急時の対応について

- ・緊急時対応として、発生時の特定・報告・連絡・対応のプロセスをあらかじめ構築しています。また、当協会の事業運営に影響のあるリスク事案の発生時にはリスク管理委員会が起動します。
- ・リスク管理委員会に所属する各部会は、平時のリスク対策と有事のクライシス対策を講じるとともに、リスク事案が発生した場合のモニタリングと是正措置を行います。
- ・情報セキュリティインシデント発生時は、原因確認、分析、復旧を早期に実行するコンピューター・セキュリティ・インシデント対応チーム（IIBC-SIRT）を設立しており、IIBC-SIRTは、一般社団法人日本シーサート協議会に2018年から加盟しています。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

受験種類	サポート内容	受験可能なテストの種類
点字	点字の問題を提供。受験者は点字機器で解答を入力、試験終了後に試験官が通常の解答用紙に転記。	TOEIC Bridge L&R(マークシート)
時間延長	障がいの状況等により、解答時間を延長して実施。	TOEIC Bridge L&R (マークシート、オンライン)、 TOEIC Bridge S&W
拡大版資材	障がいの状況等により、問題用紙、解答用紙を拡大版で提供。	TOEIC Bridge L&R(マークシート)

* 具体的なご相談内容に応じて個別対応あり。

(2) 事前/事後学習教材の有無、内容

● サンプル問題

TOEIC Bridge L&R サンプル問題

https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_lr/about/format/sample01.html

TOEIC Bridge S&W サンプル問題

https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw/about/format/sample01.html

● 公式教材

テストを開発する ETS が制作。TOEIC Bridge Tests の理解を深め、事前/事後学習で活用可能

<https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep.html>

『TOEIC Bridge® L&R 公式ワークブック』

『TOEIC Bridge® 公式ガイドブック』

*10/19 『TOEIC Bridge L&R 公式ワークブック 2』 発売予定

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

【TOEIC Bridge L&R】

既定項目に加え、学校独自の質問も設定可能（最大 6 個）

既定項目の例：

「現在、日常生活において英文を書いたり読んだり、あるいは英語で意思疎通をはかる必要がありますか」

「主として英語を話す生活を送りながら海外に通算 6 か月以上滞在したことがありますか」等

【TOEIC Bridge S&W】

既定項目に加え、学校独自の質問も設定可能（最大 6 個）

既定項目の例：

「直近 1 週間あたりの英語学習時間を選択してください」

「英語学習の目的・理由について選択してください」等

(4) 個人受験の可否

個人での受験は可能。公式ホームページから直接公開テストに申し込み。

試験実施運営は当協会が行い、受験結果は公式認定証を発行。

【TOEIC Bridge L&R】

公開テストは年6回全国22受験地で実施。結果は試験日から18日後にデジタル公式認定証を、試験日から35日以内に公式認定証を発送。

実施月：5月、7月、9月、11月、1月、3月

受験地：札幌、岩手、宮城、水戸、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、愛媛、福岡、熊本、沖縄

＊2024年9月現在

公開テスト最新情報：https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_lr.html

【TOEIC Bridge S&W】

公開テストは年6回全国12受験地にて実施。テスト結果は試験日から18日後にデジタル公式認定証を、試験日から35日以内に公式認定証を発送。

実施月：5月、7月、9月、11月、1月、3月

受験地：北海道、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡

＊2024年9月現在

公開テスト最新情報：https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw.html

(5)問題内容の情報提供

サンプル問題および公式問題集等で情報を提供しています。

公式ホームページにサンプル問題および解答を掲載。TOEIC Bridge S&Wは評価レベルの異なる複数の解答例とその解説も掲載。サンプル問題を冊子と音声CDでも提供可能です。

公式ホームページや公式問題集に掲載の問題はすべて、TOEIC Bridge Testsを開発・制作するETSが作成しており、実際のテスト問題と同様の制作手順、品質で制作しています。また、過去問題の流用ではなく新規の問題を提供しております。公式問題集では、TOEIC Bridge L&Rの参考スコア範囲、TOEIC Bridge S&Wの複数の解答例を提示しています。

(6)その他

● 大学入試での活用

https://www.iibc-global.org/toEIC/official_data/univ_research.html

2022年度調査でTOEIC Bridge Testsの利用は18校、TOEIC Program全体で332校採用校があり年々、増加傾向にあります。2024年度はTOEIC Bridge Testsの利用校は112校となっています。

● TOEIC L&R、TOEIC S&W 受験への連携

TOEIC Bridge L&R、TOEIC Bridge S&Wで高スコアの受験者は、TOEIC L&R、TOEIC S&Wの受験でさらに高い目標設定が可能です。TOEIC Bridge Testsからのスムーズな移行と、大学等での単位認定や留学準備、就職活動等スコアの活用範囲をさらに広げることが可能になっています。

● 教員研修等への協力

- ・教育委員会の研修等への協力、ワークショップの提供等、指導者側のテスト知識の向上、教授法情報提供など協力実績があります。
- ・Propell® Teacher Workshop for the TOEIC Bridge® Tests
ETS公認のインストラクターが行う不定期開催のワークショップ。テストに関する情報だけでなく、指導法や評価方法についても情報提供。学習用/指導用資料の提供
- ・English Teaching Principles Course offered by the TOEIC Program
オンラインの先生向け研修コース。モジュールごとに受講が可能で、テストに関する情報だけでなく、指導法、学習用/指導用資料やレッスンプランなども提供

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

測定ツール名:TOEIC Bridge® Tests:
TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests
TOEIC Bridge® Speaking and Writing Tests

対象教科:英語
測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)
大学入学共通テストとTOEIC Programのスコアの相関について	TOEIC Bridge L&R スコアとの比較調査	添付資料1	○				
Can Doガイド	Can Doガイド(TOEIC Bridge L&R)	添付資料2				○	
Can Doガイド	Can Doガイド(TOEIC Bridge S&W)	添付資料3				○	

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
TOEIC Bridge Tests団体特別受験制度についてのご案内	TOEIC Bridge Testsのご案内	添付資料4	○	
TOEIC Bridge L&R マークシート方式の受験者に提供される資料	TOEIC Bridge L&R IPテスト STUDY ADVICE SHEET	添付資料5	○	
TOEIC Bridge L&R実施後に団体担当者へ提供される資料	TOEIC Bridge L&R Institutional Program Score Data	添付資料6		○
TOEIC Bridge L&R実施後に希望する団体担当者へ提供される資料	Score Data Checkup (TOEIC Bridge L&R IP)	添付資料7		○
TOEIC Bridge L&R実施後に希望する団体担当者へ提供される資料	Score Data Checkup (TOEIC Bridge S&W IP)	添付資料8		○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	TOEIC Bridge Testsのご案内	添付資料4
学校用実施マニュアル	TOEIC Bridge L&R IPテスト実施マニュアル	添付資料9
学校用実施マニュアル	TOEIC Bridge L&R (IP)オンライン受験手順(先生用)	添付資料10
学校用実施マニュアル	TOEIC Bridge L&R (IP)オンライン受験手順(生徒用)	添付資料11

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

測定ツール名：TOEIC Bridge® tests:

TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests、TOEIC Bridge® Speaking and Writing Tests

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

TOEIC Bridge® Tests を総称とする TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests および TOEIC Bridge® Speaking and Writing Tests は英語を母語としない、英語学習初級者から中級者の英語力を測定するために開発されました。実社会でのコミュニケーションに必要な英語の能力を測ることを目的とし、題材は初級および中級レベルの受験者になじみの深い実際の会話や書き言葉に基づいています。受験者は、英語を勉強している学生や、日常生活で英語を使う必要のある方を対象としています。中学校、高等学校の学習指導要領の目標の達成度合いを測定するテストとしても適切なテストです。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>短い説明の要点を捉えることができる</u> - よく使われる語句が理解できる - 基本的な構造や平易な文が理解できる - 丁寧に話された英語の音素の認識ができる - 短い発話や会話の主題が理解できる - 短い発話で示された内容が理解できる	Listening Part 1 【設問数】6問 【出題形式】 選択式	聞 く こ と	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声、ウ 語、連語及び慣用表現 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項②言語の働きに関する事項 ア 言語の使用場面の例 (ア) 生徒の暮らしに関わる場面 (ウ) 特有の表現がよく使われる場面

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>日常生活に関する題材についての短い会話を理解することができる</u> - よく使われる語句や定型の表現が理解できる - 基本的な文法構造（疑問文を含む）を理解できる - 短いやりとりで適切な応答が認識できる - ゆっくり丁寧に話される場合に、意味を伝える一般的なイントネーションやストレスの使われ方、音素の認識ができる - 短いやりとりの中で話者の立場や文脈を推察できる - 短いやりとりの中で主題や示された事実が理解できる	Listening Part 2 【設問数】20 問 【出題形式】 選択式	聞 く こ と	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>日常生活に関する題材についての会話を理解することができる。</u> - よく使われる語句や文法構造を理解できる - ゆっくり丁寧に話されると意味を表すイントネーションやストレスを認識できる - 主題や事実が理解できる - 話者の役割や文脈、暗示的な意味を推察することができる	Listening Part 3 【設問数】10 問 【出題形式】 選択式	聞 く こ と	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声、ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項②言語の働きに関する事項 ア 言語の使用の場面 イ 言語の働きの例 コミュ II 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項
<u>日常生活で発生するような場面の1名の話者のトークを理解することができる。</u> - よく使われる語句や文法構造を理解できる - ゆっくり丁寧に話されると意味を表すイントネーションやストレスが認識できる - 主題や事実が理解できる - 話者の役割や文脈、暗示的な意味を推察できる	Listening Part 4 【設問数】14 問 【出題形式】 選択式	聞 く こと	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ア 音声 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項②言語の働きに関する事項 ア 言語の使用の場面 イ 言語の働きの例 コミュ II 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>よく使われる語句の意味や基本的な文の構造を理解することができる。</u> ・よく使われる語句を理解できる ・基本的な文法構造を理解できる ・文脈で使われる最も適切な語句を認識できる ・適切な接続詞を認識できる	Reading Part 1 【設問数】 15 問 【出題形式】 選択式	読 む こ と	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2 内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項
<u>日常的な場面や身近な仕事関係の内容について書かれた短い文章を理解することができる。</u> ・よく使われる語句や基本的な文法構造を理解できる ・文脈に応じた最も適切な語句	Reading Part 2 【設問数】 15 問 【出題形式】 選択式	読 む こ と	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
を認識できる - 書き手の目的を理解できる - 文脈の各部分にわたって考えを関連付けることができる - 短い文章の構成を理解できる			<高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項 ア 言語の使用の場面 コミュ II 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項
<u>一般的な文章を理解することができる。</u> - よく使われる語句を理解できる - 平易な文や文法構造を理解できる	Reading Part 3 【設問数】20 問 【出題形式】選択式	読むこと	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・いろいろな形式の短い文章の構造を理解できる ・基本的な句読点の使い方が理解できる ・短く平易な文章の、書き手の目的や文脈を推察できる ・短い文章の主題や示された事実を理解できる			＜高校＞ コミュⅠ 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項 ア 言語の使用の場面 コミュⅡ 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ②言語の働きに関する事項

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>聞き手の努力を最小限に抑える明瞭で理解しやすい発話をする</u> ことができる。 - 英語の母音子音を聞き手が理解できるように発音できる - 英語の音節を理解できる - 語彙のストレスを適切に使える - ストレスを利用して文の重要な語を示すことができる - 適切にイントネーションや間を使うことができる	Speaking Q 1-2 【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式 受験者の発話を録音して採点します。パソコンを用いて実施 音読問題 画面に提示された文章を声に出して読み上げます。	話すこと	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。 <高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴や決まりに関する事項 ア 音声 ウ 語、連語および慣用表現 エ 文構造及び文法事項
<u>人や物、場所、動作などを描写</u> することができる - いろいろな語句を使うことができる - 場所や行動を表す文法構造を使うことができる	Speaking Q 3-4 【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式 受験者の発話を録音して採点します。パソコンを用いて実施。	話すこと	<中学> 1.目標 (4) 話すこと [発表] ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・写真などの特徴を捉え他の人にわかるように伝えることができる	写真描写問題 画面に提示された写真を見て、その内容を描写します。		ようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴や決まりに関する事項 ア 音声 ウ 語、連語および慣用表現 エ 文構造及び文法事項 コミュⅡ 1.目標 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (2) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。
<u>他者の話した内容の主題や要点を伝えることができる</u> - 情報の要点（詳細や目的）を理解できる - 話者の目的を認識できる - 要点をまとめて伝えることができる - 情報を言い換えることができる	Speaking Q 5 【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 受験者の発話を録音して採点します。パソコンを用いて実施。 聞いたことを伝える問題 ある話題について話すのを聞いた後、その趣旨をほかの人に伝える問題	話すこと	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする (4) 話すこと [発表] ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにお

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			いて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明な

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			どこから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 コミュⅡ 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について，話される速さや，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 2.内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①言語活動に関する事項 イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について，必要に応じて，話される速さが調整されたり，別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら，対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら、説明や討論などから必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 論表Ⅰ 1.目標 (1) 話すこと [やりとり] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 (2) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>情報を尋ねたり、リクエスト、申し出、提案、招待など</u> <u>をすることができる。</u> ・ 定型の表現を適切に使うことができる ・ 書かれた情報や内容を効果的に使うことができる ・ いろいろな丁寧な表現を適切に使うことができる ・ 要望や計画などを伝えるために、文法的に正しい表現を使うことができる	Speaking Q 6 【設問数】1 問 【出題形式】記述式 受験者の発話を録音して採点します。パソコンを用いて実施。 短い応答問題 メモなどの英文資料を見て、関連の情報を求めたり依頼や申し出を行う	話すこと	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 関心の ある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 <高校> コミュ I 1. 目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり，自分自身の考えをまとめたりすること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら，話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 コミュⅡ 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (2) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分の考えなどを伝え合うこと。
<u>ストーリーや過去の経験を話すことができる</u> ・1文以上の長さを話すスピーチで効果的に文法や構文を使うことができる ・一貫性のある情報を伝えるために適切な文法が使える ・場所や人、動き、感情などを表すいろいろな語句を使う	Speaking Q 7 【設問数】1問 【出題形式】記述式 受験者の発話を録音して採点します。パソコンを用いて実施。 ストーリーを作成する問題	話すこと	<中学> 1.目標 (4) 話すこと〔発表〕 ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 <高校> コミュⅠ 1.目標 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
ことができる	4 コマの絵を見てそのストーリーを自分の言葉で述べる		ようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。 コミュⅡ 1目標 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (2) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。
<u>アドバイスや意見、好み、おすすめなどを伝えることができる</u> ・情報を要約できる ・選択肢を比較対照することができる ・個人の意見や好み、おすすめやアドバイスを述べることができる ・具体的な理由を用いて意見やおすすめを述べたり、アドバイスをすることができる	Speaking Q 8 【設問数】1 問 【出題形式】記述式 受験者の発話を録音して採点します。パソコンを用いて実施。 アドバイスをする問題 提示された情報を見て、人に助言を与えその理由を説明します	話 す こ と	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 <高校> コミュ I 1. 目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。 コミュ II 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (2) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>文法的に正しい文を作ることができる。</u> ・語形を正しく認識できる ・よく使われる文の構造を正しく認識できる ・平叙文や疑問文の正しい語順を認識できる	Writing Q 1-3 【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式 文を組み立てる問題 画面上に示された語句を並び替えて正しい文を作る	書 く こ と	<中学> 1.目標 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項
<u>人や物、場所、動作を表す文を書くことができる</u> ・様々な描写的な語句が使える ・場所や動作を表す適切な文法形式が使える ・正しいスペル、大文字、句読点などが使える	Writing Q 4-6 【設問数】 3 問 【出題形式】 記述式 写真描写問題 画面上に表示された写真を説明する分を、指定された 2 つの語句を用いて書く	書 く こ と	<中学> 1.目標 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 2.内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 ウ 語、連語及び慣用表現 エ 文構造及び文法事項

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。
<u>リクエスト、申し出、提案や招待など情報を提供したり尋ねたりするメッセージを書くことができる</u> ・いろいろな種類の短いメッセージが理解できる ・詳細をやりとりするための正しい語句や文法構造を使うことができる ・リクエストや提案、招待、申し出などをするための適切な言葉を使うことができる	Writing Q 7 【設問数】1 問 【出題形式】記述式 短文メッセージ問題 インスタントメッセージのような短いメッセージを読み、返答を要件に従って書く	書 く こ と	<中学>1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			を目的に応じて捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。 コミュ II 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたことを読んだことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (3) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたことを読んだことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。
<u>複数の文を使ってストーリーや過去の経験や出来事などを伝える文章を作ることができる</u> - 適切な接続詞などを用いて考えをつなげることができる - 考えを効果的に整理し発展させることができる - いろいろな描写的な語句を使うことができる - 過去を表す適切な動詞の時制を使うことができる - 図表などで示された情報を適切に要約できる	Writing Q 8 【設問数】1 問 【出題形式】記述式 ストーリー記述問題 画面に示された指示を読み、その指示に従って短いブログ記事を作成する	書 く こ と	<中学> 1.目標 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現した

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			り、伝え合ったりすることに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。 コミュⅡ 1.目標 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (3) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。
<u>情報や考え、意見を表す明確で簡潔なメッセージを書くことができる。</u> ・ 基本的な情報を正確に提示できる ・ 理由とともに意見を表すことができる ・ 考えを効果的に整理し発展させることができる ・ 適切な接続詞を使うことができる ・ 理解しやすいよう考えを順序だてることができる ・ 読み手に適切な語調を使うことができる ・ 挨拶やまとめの言葉を適切に使うことができる	Writing Q 9 【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 長文メッセージ返信問題 長めの E メールを読み、指示と返信要件に従って返信を作成する	書くこと	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ いろいろな文法構造や語句を使うことができる ・ 理解しやすい文にするために定型表現を使うことができる			イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。 コミュⅡ 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			て、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論表Ⅰ 1.目標 (3) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			2.内容 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現すること。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。

サンプル問題について

事業者名: 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

測定ツール名: TOEIC Bridge® Tests:

TOEIC Bridge® Listening and Reading Tests

TOEIC Bridge® Speaking and Writing Tests

対象教科: 英語

測定内容の区分: 標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号): Listening Part 2, Part 4, Reading Part 1, Part 3,
Speaking Q1, Q5, Q8, Writing Q4, Q7

出題科目	Listening Part 2																			
出題のポイント	応答問題 質問や発言を聞いて、4つの選択肢の中から、応答として最も適切なものを選ぶ。																			
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>7</td><td>○</td><td colspan="3">○</td></tr><tr><td>9</td><td>○</td><td colspan="3">○</td></tr></table>					小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			7	○	○			9	○	○		
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																		
7	○	○																		
9	○	○																		
出題形式	<table><tr><td>小問7番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>7</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>9</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>					小問7番号	選択式	短答式	記述式		7	○				9	○			
小問7番号	選択式	短答式	記述式																	
7	○																			
9	○																			
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>7</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>9</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>					小問番号	聞く	読む	話す	書く	7	○	○			9	○	○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																
7	○	○																		
9	○	○																		
サンプル問題	LISTENING PART 2 Directions: You will hear some questions or statements. After each question or statement, you will hear and read four responses. Choose the best response to each question or statement. Then mark the letter (A), (B), (C), or (D) on your answer sheet. Now listen to a sample question. Example You will hear: What time is it? You will hear and read: (A) It's three o'clock. (B) Several times. (C) Near the hotel. (D) Yes, it is. The best answer is (A), so you should mark the letter (A) on your answer sheet. 7. Mark your answer on your answer sheet. (A) Yes, quite fast. (B) Five years old. (C) Not very far. (D) It's dark blue. 9. Mark your answer on your answer sheet. (A) They open at nine. (B) Why, are you cold? (C) Some clean clothes. (D) I didn't try. 問題の音声は公式ホームページに掲載 https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_lr/about/format/sample01.html																			
解答例	7. D 9.B																			

(参考)学習 指導要領の 関連項目	＜中学＞ 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ＜高校＞ コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
----------------------------------	---

出題科目	Listening Part 4																		
出題のポイント	説明文問題 1 人の話し手による短いメッセージやお知らせなどを聞いて、その内容に関する 2 つの設問に解答する。看板やお知らせなどの簡単な補足図表を参照する問題もある。																		
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>37-38</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>39-40</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		37-38	○	○		39-40	○	○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
37-38	○	○																	
39-40	○	○																	
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>37-38</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>39-40</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	37-38	○			39-40	○					
小問番号	選択式	短答式	記述式																
37-38	○																		
39-40	○																		
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>37-38</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>39-40</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	37-38	○	○			39-40	○	○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く															
37-38	○	○																	
39-40	○	○																	

サンプル 問題	LISTENING PART 4 Directions: You will hear some short talks. You will hear and read two questions about each talk. Each question has four answer choices. Choose the best answer to each question and mark the letter (A), (B), (C), or (D) on your answer sheet. 37. Where was the speaker this morning? (A) At a bank. (B) At a library. (C) At a store. (D) At a café. 38. What has the speaker lost? (A) A book. (B) A phone. (C) A wallet. (D) A laptop. Washing Machines  <table> <tr> <td>Complete Clean</td> <td>\$250</td> </tr> <tr> <td>Express Wash</td> <td>\$350</td> </tr> <tr> <td>Super Clean</td> <td>\$450</td> </tr> <tr> <td>Deluxe Wash</td> <td>\$550</td> </tr> </table> 39. What does the woman ask the man to do? (A) Send some information. (B) Lower a price. (C) Take away a machine. (D) Place an order. 40. Look at the list. How much will the woman spend? (A) \$250. (B) \$350. (C) \$450. (D) \$550. 問題の音声は公式ホームページに掲載 https://www.iibc-global.org/toeic/test/bridge_lr/about/format/sample01.html	Complete Clean	\$250	Express Wash	\$350	Super Clean	\$450	Deluxe Wash	\$550
Complete Clean	\$250								
Express Wash	\$350								
Super Clean	\$450								
Deluxe Wash	\$550								
解答例	37.B 38.C 39.D 40.C								
(参考)学習 指導要領の 関連項目	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。								

出題科目	Reading Part 1														
出題のポイント	短文穴埋め問題 語や句が 1 カ所抜けている文を読んで、それを完成させるのに最も適切な選択肢を選ぶ。														
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>53</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr></table>					小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			53	○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等													
53	○														
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>53</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>					小問番号	選択式	短答式	記述式		53	○			
小問番号	選択式	短答式	記述式												
53	○														
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>53</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>					小問番号	聞く	読む	話す	書く	53		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く											
53		○													
サンプル問題	READING This is the Reading test. There are three parts to this test. You will have 35 minutes to complete the Reading test. READING PART 1 Directions: You will read some sentences. Each one has a space where a word or phrase is missing. Choose the best answer to complete the sentence. Then mark the letter (A), (B), (C), or (D) on your answer sheet. Example Do not _____ on the grass. (A) find (B) keep (C) walk (D) have The best answer is (C), so you should mark the letter (C) on your answer sheet. 53. I am glad we were able to work so _____ together. (A) closer (B) closest (C) closely (D) closeness														
解答例	C														
(参考)学習指導要領の関連項目	< 中学 > 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 < 高校 > コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用														

	用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。
--	---

出題科目	Reading Part 3														
出題のポイント	読解問題 1つの文書を読んで、それに関する2つか3つの設問に解答する。														
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>83,84</td><td>○</td><td colspan="3">○</td></tr></table>					小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			83,84	○	○		
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等													
83,84	○	○													
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>83,84</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>					小問番号	選択式	短答式	記述式		83,84	○			
小問番号	選択式	短答式	記述式												
83,84	○														
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>83,84</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>					小問番号	聞く	読む	話す	書く	83,84		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く											
83,84		○													
サンプル問題	READING PART 3 Directions: You will read some texts such as notices, letters, and instant messages. Each text is followed by two or three questions. Choose the best answer to each question and mark the letter (A), (B), (C), or (D) on your answer sheet. Example Milltown Supermarket We have the freshest fruit and vegetables in town! Opening Hours Monday to Friday, 9:00 A.M. to 9:00 P.M. Saturday and Sunday, 10:00 A.M. to 7:00 P.M. 1. What does the store sell? (A) Food (B) Clothing (C) Books (D) Furniture 2. What time does the store close on Tuesday? (A) At 7:00 P.M. (B) At 8:00 P.M. (C) At 9:00 P.M. (D) At 10:00 P.M. The best answer for question 1 is (A), so you should mark the letter (A) on your answer sheet. The best answer for question 2 is (C), so you should mark the letter (C) on your answer sheet. Questions 83-84 refer to the following text-message chain. Sofia 3:01 P.M. Kostas, how are you feeling? Will you be back in the office tomorrow? I'm feeling much better. But I still have a fever. I won't be back until Thursday. Kostas 3:03 P.M. I really don't want to pass this on to other people. Kostas 3:03 P.M. Sofia 3:04 P.M. 83. What will Kostas probably do tomorrow? (A) Visit his family (B) Meet some friends (C) Go to the office (D) Stay at home 84. Select the best response to Kostas' message. (A) "It went very well." (B) "I hope you're better soon." (C) "Tell me what you think." (D) "All right, I'll do that."														

解答例	83. D 84. B
(参考)学習 指導要領の 関連項目	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 コミュ II 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

出題科目	Speaking Q1										
出題のポイント	音読問題 短い文章を音読する。										
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>1</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		1	○	○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
1	○	○									
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1		○			
小問番号	選択式	短答式	記述式								
1		○									
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>1</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	1		○	○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
1		○	○								
サンプル問題	Question 1: Read a Short Text Aloud Directions: Read aloud the news broadcast on the screen. You have 25 seconds to prepare and 30 seconds to read aloud. And now it's time for the local weather report. It will be warm and sunny on Wednesday, Thursday, and Friday. However, we expect it to rain all day on Saturday. So don't forget to take your umbrella!										
解答例	High-level と Mid-level の 2 つの異なるレベルの解答例と解説を公開。 https://www.iibc-global.org/toeic/test/bridge_sw/about/format/sample01.html										
(参考)学習指導要領の関連項目	<中学> 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。										

出題科目	Speaking Q5								
出題のポイント	聞いたことを伝える問題 ある場面のメッセージやお知らせなどを聞いて、その趣旨や要点を第三者に伝える。								
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>5</td><td></td><td>○</td></tr></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	5		○
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等							
5		○							

出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>5</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	5			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式								
5			○								
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>5</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	5	○		○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く							
5	○		○								
サンプル問題	Question 5: Listen and Retell Directions: In this part of the test, you will listen to a person talking about a topic. Then you will tell another person what you heard. First, listen to the talk. You have 15 seconds to prepare and 30 seconds to speak. You are at a staff meeting. The company president makes an announcement. (実際のテストでは画面に表示されません) <i>To begin today's staff meeting, I'd like to give you some updates about the office move we're planning. We've found a very convenient new building right in the center of the city. We plan to move at the end of the month. Let me say that again: the new office building we've found is more centrally located. The move is scheduled to take place at the end of this month.</i> Your coworker was late to the meeting. Tell your coworker what the company president said.										
解答例	High-level と Mid-level の 2 つの異なるレベルの 2 種類の解答例と解説を公開。 https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw/about/format/sample01.html										
(参考)学習指導要領の関連項目	<中学> 1.目標 (1) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 <高校> コミュ I 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、										

	多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を話して伝えることができるようにする。 コミュⅡ 1.目標 (1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
--	--

出題科目	Speaking Q8													
出題のポイント	アドバイスをする問題 比較対照できる選択肢について示された情報を用いて、自分が薦める選択肢とその理由を述べる。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>8</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		8		○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
8		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>8</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	8			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
8			○											
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>8</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	8		○	○	
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
8		○	○											

サンプル 問題	Question 8: Make and Support a Recommendation Directions: Use the information provided to help you complete a task. You have 60 seconds to prepare and 60 seconds to speak. Your friend Liz is looking for an apartment to rent. She has asked for your advice. You found the two options below. • Tell Liz about the two options using ALL of the information provided • Recommend one of the options, and • Explain why the option you chose is better than the other <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;">  Highland Apartments • 1 bedroom • Built 2 years ago • Public transportation: 5 blocks away </td><td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;">  Sunny Hills Apartments • 2 bedrooms • Built 30 years ago • Public transportation: 1 block away </td></tr> </table>	 Highland Apartments • 1 bedroom • Built 2 years ago • Public transportation: 5 blocks away	 Sunny Hills Apartments • 2 bedrooms • Built 30 years ago • Public transportation: 1 block away
 Highland Apartments • 1 bedroom • Built 2 years ago • Public transportation: 5 blocks away	 Sunny Hills Apartments • 2 bedrooms • Built 30 years ago • Public transportation: 1 block away		
解答例	High-level と Mid-level の 2 つの異なるレベルの解答例と解説をホームページに公開。 https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw/about/format/sample01.html		
(参考)学習 指導要領の 関連項目	< 中学 > 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 < 高校 > コミュ I 目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。		

	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 コミュ II 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (4) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 論表 I 1.目標 (2) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
--	--

出題科目	Writing Q4														
出題のポイント	写真描写問題 提示された 2 つの語や句を両方用いて、写真の内容を説明する 1 つの文を作成する。														
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>4</td><td>○</td><td colspan="3">○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			4	○	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等													
4	○	○													
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式		4			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式												
4			○												
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	4				○				
小問番号	聞く	読む	話す	書く											
4				○											
サンプル問題	Question 4: Write a Sentence Directions: Write ONE sentence based on the picture. Use the TWO words or phrases under the picture. You can change the forms of the words and you can use them in any order. You have 90 seconds to write.  woman clean														
解答例	High-level と Mid-level の 2 つの異なるレベルの 2 種類の解答例と解説を公開。 https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw/about/format/sample01.html														
(参考)学習指導要領の関連項目	< 中学 > 1.目標 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 < 高校 > コミュ I 1.目標 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。														

出題科目	Writing Q7													
出題のポイント	短文メッセージ返信問題 短いメッセージ（例：インスタントメッセージ）を読んで、示された 2 つの要件を満たす返信を作成する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>7</td><td>○</td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		7	○	○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
7	○	○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>7</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	7			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式											
7			○											
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>7</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	7		○		○
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
7		○		○										
サンプル問題	Question 7: Respond to a Brief Message Directions: Respond clearly and fully to the message from your friend Chris. You have 8 minutes to prepare and write. Suggest one dish you like, and Briefly explain to Chris how to make it Chris Chris: Hope you're doing well! My sister's visiting me tomorrow and I'm thinking of cooking something nice for her (don't know what!). I wonder if you have any ideas...													
解答例	High-level と Mid-level の 2 つの異なるレベルの 2 種類の解答例と解説を公開。 https://www.iibc-global.org/toEIC/test/bridge_sw/about/format/sample01.html													
(参考)学習指導要領の関連項目	< 中学 > 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。													

	<高校> コミュ I 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，多くの支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 コミュ II 1.目標 (2) 読むこと ア 日常的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 社会的な話題について，使用される語句や文，情報量などにおいて，一定の支援を活用すれば，必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，一定の支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを基に，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 論表 I 1.目標 (3) 書くこと ア 日常的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，事前の準備などにおいて，多くの支援を活用すれば，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，基本的な語句や文を用いて，意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
--	---